

建築士のまちづくり活動～「まちのよそおい30年の歩み」ほか

まちづくり委員長 原田正彦

山口建築士が関わる最近のまちづくりについて、2件報告しておきたい。

■「まちのよそおい30年の歩み」の発刊

私が仲間と共に進めてきたまちづくり活動は、対象の地域やテーマにより、建築士会だけでなく建築学会、様々な任意団体、市民団体の中で行ってきた。その中でも、景観まちづくり団体「まちのよそおいネットワーク」の設立は1992年と最も古く、会員同士の絆も今でも強い。設立当初は県内の優れた景観を持つ建築を顕彰する「手作り景観賞」を実施し、1995年には士会連合会の「まちづくり賞」を受賞した。2000年にNPOの認可を受けて以後は、近代建築等の「歴史的景観」のほか「農村景観」「河川景観」「都市景観」と対象は広がり、以後様々な活動により、2019年「日本建築学会中国支部中国建築文化賞人物・団体部門」、2022年「第9回 山口市景観賞優秀賞」等の受賞歴を誇る。

2022年に活動が30年を超え、また初代理事長の福田東亜氏が逝去されたことを切っ掛けに、この度「活動30年の歩み」を発刊した。「第一部 まちよそ活動の展開」「第二部 まちよそ活動から学んだこと～会員による自由投稿～」「第三部 長谷川堯先生が山口に残されたもの」の三部構成とし、最後に発足1992



▲30年の活動報告書 (A4版、全95頁)



▲まちづくり活動ポスター、チラシを紹介

■長谷川堯氏について
【経歴】
1950年 兵庫県八幡川町(現姫路市)に生まれる
1969年 早稲田大学第一文学部卒業。県内の近代建築史及び近代建築の発展を研究。1970年 建築設計士、日本建築学会に加盟する「丸尾建築」という建築設計事務所を、朝陽の「藤島建設」として設立。1980年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1981年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1982年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1983年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1984年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1985年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1986年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1987年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1988年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1989年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1990年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1991年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1992年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1993年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1994年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1995年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1996年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1997年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1998年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。1999年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2000年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2001年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2002年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2003年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2004年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2005年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2006年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2007年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2008年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2009年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2010年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2011年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2012年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2013年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2014年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2015年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2016年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2017年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2018年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2019年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2020年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2021年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2022年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2023年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。2024年「藤島建築」として建築設計事務所を設立。

▲長谷川堯先生の近代建築セミナーでの講演記録



▲2023年まちよそ総会の模様

から30年間の「活動年表」も整理掲載している。この「歩み」は関係機関に配布済で、山口県建築士会の図書コーナーにも数冊置いてある。興味のある方はぜひご一読いただきたい。

■秋穂第八十七番札所の落慶法要に出席して

こうした長年の活動の中で培われたまちづくり仲間とのネットワークが功を奏したのが、「八十八力所霊場秋穂第八十七番札所」改修であった。(詳細は「山口建築士」2024.05月号支部だより)

見事な唐破風の向拝を持つこの札所(大正13年建設)は白蟻にやられて倒壊寸前だった。しかし何とか復元をと多額の寄付をされた山本氏→富田氏(秋穂観光コンベンション協会会長)→北島氏(山口市文化財保護課)→原田(HM・まちよそ)→沼田氏(HM・まちよそ・古民家再生G)→重黒木棟梁(古民家再生G)→金子氏(HM・まちよそ・古民家再生G)と、奇跡的なつながりの中、工事発注にこぎつけたのだ。また工事費不足分は、地元幸田地区の住民たちからの寄付、更にクラウドファンディングなどで調達された。

重黒木棟梁の施工により、8か月の工期を経て見事竣工。令和6年5月5日、幸田地区の方々を中心に約40名が現地に招かれ落慶法要が行われた。計画からほぼ3年。時間はかかったが、多くの人々の笑顔を見て、ささやかながらも地域の景観や記憶をつなぐ事業に携われたこと、素晴らしい仲間を持ったことに喜びを感じた一日であった。

